

【旭川発】北海道金融広

報委員会主催の「金融教育  
に関する講演会と座談会」  
が七月二十九日、旭川クラ  
ンドホテルで初開催された  
。写真。教職員など約六  
十人が参加。講演やパネ  
ルディスカッションを通して  
金融教育の必要性を実感。  
講師のF.P.生活経済ジ  
ャーナリストいちのせかつ  
み氏は、「どう賢くお金を  
使うか実感を伴った教育が  
必要」「成功経験とともに  
失敗する経験も大切」と呼  
びかけた。

### 「金融教育」で講演会と座談会

## 実感を伴った教育必要 学校教育での展開など探る

報催  
広主  
融会  
金員  
道委

自身的生活設計を立て、実  
を呼びかけた。

り多い人生を歩み出すため  
の力を培うことが大切と考  
えた。金融教育が学校教育  
の目指す「生きる力」の育  
成と多くの接点をもってい  
た。

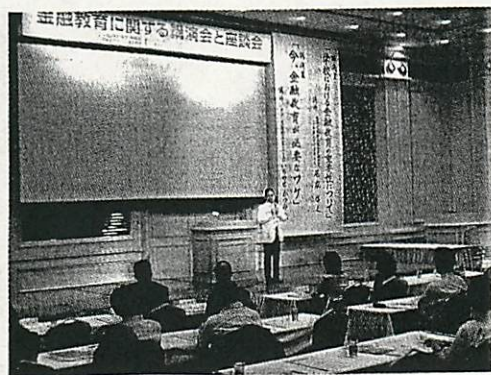
た授業実践を報告した。  
自己破産が多い地域や自  
営業が多い地域などではセ  
ミナーについてのニーズが  
違つと指摘し、「実際の百  
万円に触れて使い方を考え  
させるなど、身近なものを

初めて企画した。  
まず「学校における金融  
教育の重要性」について、  
同委員会委員で日本銀行旭  
川事務所長の尾家啓之氏が  
講演。発行した『金融教育  
ガイドブック』の活用など

「子どもたちは  
「成功経験とともに  
失敗する経験も大切」と呼  
びかけた。

「子どもたちは  
「成功経験とともに  
失敗する経験も大切」と呼  
びかけた。

「子どもたちは  
「成功経験とともに  
失敗する経験も大切」と呼  
びかけた。



ブルの両面にふれ、「子ども  
のかを考えさせて」と述  
要「自分で考え、話し合  
う中で子どもたち一人ひと  
りの答えを見つめる教育で  
ある」と述べた。

引き続き、いちのせ氏の  
ほか、北洋銀行経済調査室  
の斎藤正広室長、旭川信用  
金庫地域貢献室の松崎英司  
室長、日本F.P.協会道北支  
部の白崎美穂支部長、北海  
道金融広報アドバイザーの  
水谷千佳氏を迎えてパネ  
ルディスカッションした。

特に、お金の  
渡し方一つでも 学校や関係機関と連携し  
封筒に入れる た指導方法、カリキュラム  
親、折れたまま 開発の必要性などについて  
渡す親がいる例 話し合った。

また、携帯電話の授業実  
践紹介では、便利さとトラ